

グラベルフィックスプロ・ライト取扱説明書



ここに示した項目はグラスフィックスを扱うにあたって大変重要な内容です。内容をよく理解してお読みください。本説明書ならびに弊社カタログに掲載されている内容に反する施工・ご使用はご遠慮ください。

砂利の特性について

グラベルフィックスプロは天然の砂利をそのまま使用することで、水の透水性、太陽の照返しを抑え、自然な景観を保つことを目的とした舗装材です。天然の砂利を使用するにあたって、砂利の特性を知っておく必要があります。

- 通常の砂利道よりは砂利の動きを軽減できますが、砂利は少なからず動きます。
- 天然の砂利は色目・サイズにばらつきがあります。また、長い月日をかけ経年変化・風化を楽しめます。
- 砂利を敷き詰めた舗装は透水性に優れます。又、砂利同士の隙間から雨水が地中に抜けます。
- 砂利は固めずに敷くことで、太陽光を乱反射させ、照り返しを抑えます。

グラベルフィックスを使用するにあたっての注意事項

- 天然の砂利をそのまま敷き詰めるため、表面の砂利に動きがあります。
- 樹脂舗装やコンクリートとは違い、砂利を固めず自然な状態を再現させます。
- 入口部分の見切りを、グラベルフィックス仕上げ面より多少高く設定してください。砂利の飛散を防ぐためです。
- 表面の砂利が道路に飛ぶ場合があります。
- 砂利が動き、表面のハニカム素材が見えてくる場合があります。その場合、砂利を慣らしてハニカムを隠す必要があります。
- グラベルフィックスは原料がポリプロピレンの為、火気を使用する場所には適しておりません。
- 保管時は本体を横置きにて保管して下さい。縦置きにしますと、本体がたわんでしまう恐れがあります。
- 本商品を使用すると、防犯砂利の効果が薄れる可能性があります。

施工における注意事項

- 本商品は床面用としております。カタログや本施工資料に定められた施工を行ってください。
- グラベルフィックスに使用する砂利は大きさが3~16mm程度の大きさが最適です。
5~7mm程度の砂利の方が締まりが良いですが、車両乗入れの際にタイヤの水にはまってしまうので、車両乗入れの場合は10mm以上の砂利を推奨します。
- 砂利を充填後は必ず転圧をしてください。転圧をしないと砂利が自重で沈んでしまいハニカムが見えて破損の原因となります。転圧後にグラベルフィックスのハニカムが隠れるまで砂利を充填する事が必要です。
- 雨や雪、直射日光の当たる場所では保管しないで下さい。
- 安全を確保するため、車両などが乗る場合についての施工は専門の施工業者に依頼してください。
- 振動、衝撃がある場所へは施工しないで下さい。商品の破損・倒壊につながります。
- 施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- 路盤は地域の基準に適した路盤作りをお願い致します。
- 本商品は1枚の大きさが大きい為、敷き砂の不陸調整をしっかりと行ってください。
- 本体は千鳥に施工し、長手方向の目地が通らないよう施工して下さい。
- グラベルフィックス同士の繋ぎ目は、不織布の耳が長い方を下に敷き、短手を上に重ねて下さい。
- 短手分スペースを開けて並べてください。
- 砂利を上層、下層で分ける場合、下層に敷き詰めた砂利を竹箒(たけぼうし)を使用して7割り位の深さまで調整して下さい。
- 別途、施工要領書を用意しておりますので、施工の際は必ずご確認ください。